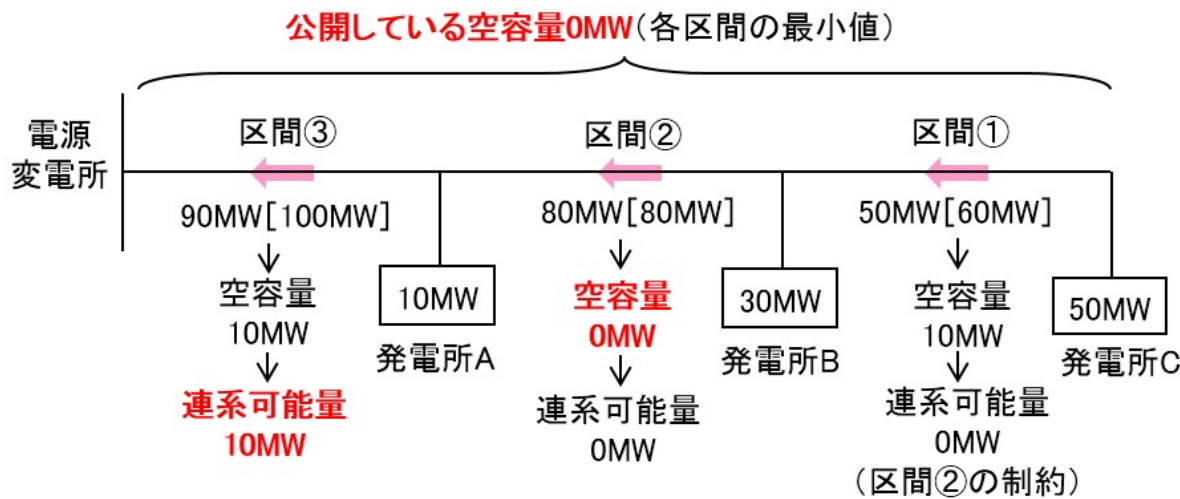


空容量マッピング利用上の留意点

- 本資料は 2024年7月11日 時点における系統状況から作成しております。
- 空容量は目安※であるため、系統連系の前には、接続検討(要申込み)による詳細検討が必要となります。
- 原則として熱容量に基づく空容量を記載しておりますので、その他の要因(電圧や系統安定度など)により系統連系制約が生じる場合があります。
- 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、受電電力が空容量の範囲内であっても、過去の増強工事費の一部を遡ってご負担いただく場合があります。
- 公表することにより、テロ等による社会的な大きな影響を受けることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報は公開しておりません。
- 個別の電力供給契約が特定可能な第三者情報は公開しておりません。

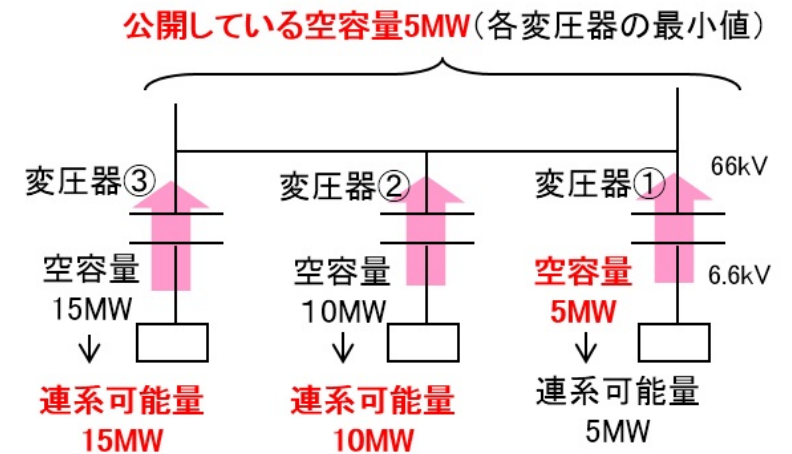
※公開している空容量と連系可能量が異なる例

例1) 送電線



[]内の値は設備容量

例2) 配電用変電所



154kV, 66kV, 22kV系統空容量マッピングの記載方法について

○既にお申し込みを頂いている発電設備の連系状況を踏まえ、以下の凡例で系統の空容量を示しております。

※空容量の数値[MW]については、別紙「空容量一覧表」を参照願います。

— 平常時出力制御 *1 が発生する可能性のある系統 *2

平常時出力制御が発生する可能性については、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定しております。

* https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryuu.html

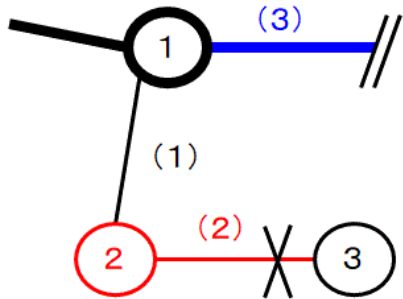
— 空き容量が無く、N-1電制が適用不可能であり、今後新規電源の申込によって平常時出力制御が発生する可能性のある系統 *3

— 平常時出力制御が発生する可能性が当面低い系統

*1 系統容量の制約による出力制御

*2 ノンファーム型接続が必要になる系統であっても、別途N-1電制が必要となる場合がある

*3 電源接続案件一括検討プロセスを実施中の系統、増強工事中の系統等を含む



①, ②, ③ : 変電所の設備番号

(1), (2), (3) : 送・配電線の設備番号

○「154kV, 66kV, 22kV系統空容量マッピング」は

特別高圧にて連系予定発電設備を対象としております。

| 空容量マッピング | 対象発電設備 |
|----------|-----------------------------------|
| 154kV | 50,000kW以上にて連系予定の発電設備 |
| 66kV | 10,000kW以上, 50,000kW未満にて連系予定の発電設備 |
| 22kV | 2,000kW以上, 10,000kW未満にて連系予定の発電設備 |

【凡例: 154kVマップ】

| | | |
|---------|-------|---|
| 変電所 | 154kV | ○ |
| 開閉所 | 154kV | ⊗ |
| 周波数変換設備 | | ⬇ |
| 交直変換設備 | | ⬆ |
| 送電線 | 154kV | — |
| 発電所 | 154kV | □ |

【凡例: 66kVマップ】

| | |
|--------|---------|
| 変電所 | ○ |
| 送電線 | — |
| 常時開放箇所 | // × |

【凡例: 22kVマップ】

| | |
|-----|---|
| 変電所 | ○ |
| 配電線 | — |

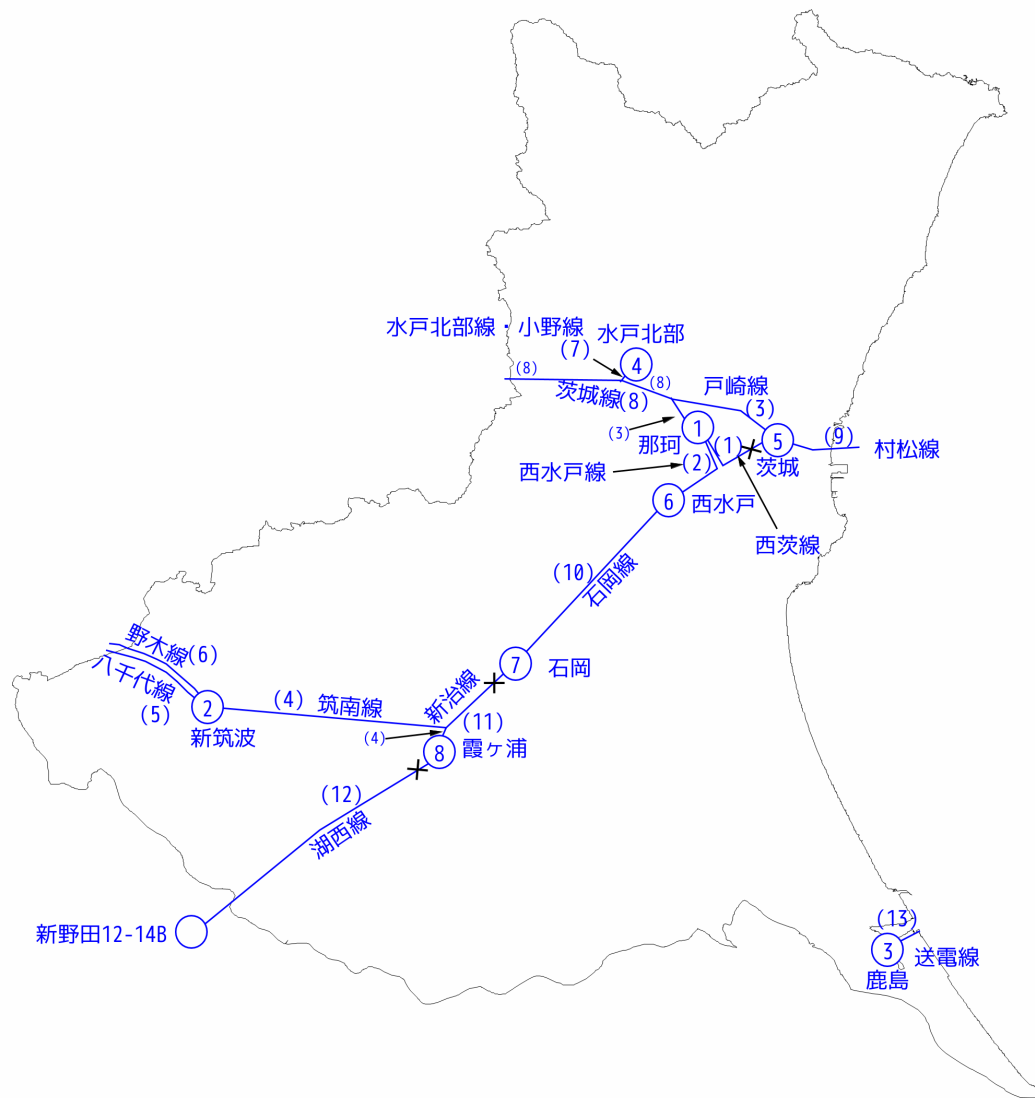
- ・セキュリティ等の理由により、系統の一部を記載していない都県がございます。
- ・破線で示した送電線・変電所は他社設備です。

送電線運用容量一覧表の留意事項について

- (1) 空容量と平常時出力制御の可能性は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量と平常時出力制御の可能性が変更となる場合があります。
- (2) 原則として熱容量に基づく空容量と平常時出力制御の可能性を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (3) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。なお、N-1電制は費用便益評価により設置判断されるため、N-1電制適用可能性ありでも設置されるとは限りません。また、適用不可の場合の理由は以下の通りです。
 - #1 基幹系ループ系統のため
 - #2 1回線送電線のため
 - #3 安定度制約のため(制約が確認できているもの)
- (4) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量に変更となる場合があります。
- (5) 平常時出力制御の可能性がある設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
 - * https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryuu.html
- (6) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (7) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (8) 送電線名に発電所名、需要者名等が含まれている場合には、送電線名を「送電線」としております。
- (9) 電力広域的運営推進機関から示された「想定潮流の合理化」については、順次詳細検討の結果を反映させて参ります。
- (10) 平常時出力制御の可能性の有無に関わらず、ノンファーム型接続適用電源となります。(低圧10kW未満の電源を除く。)
- (11) 予想潮流については「需要・送配電に関する情報」をご覧ください。なお、2023年度末から順次公開範囲を拡大する予定です。
- (12) 既設電源アクセス線に新規電源が連系する際、系統増強が必要になる場合があります。詳細については、系統アクセス検討の中でお示しします。
 - ※電力広域的運営推進機関が公表している「系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム接続～*」でも、新規電源連系時のアクセス線等の取扱いが整理されています。
 - * <https://www.occto.or.jp/grid/business/setsuzoku.html#non-firm>

変電所運用容量一覧表の留意事項について

- (1) 空容量と平常時出力制御の可能性は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量と平常時出力制御の可能性が変更となる場合があります。
- (2) 原則として熱容量に基づく空容量と平常時出力制御の可能性を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (3) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。なお、N-1電制は費用便益評価により設置判断されるため、N-1電制適用可能性ありでも設置されるとは限りません。また、適用不可の場合の理由は以下の通りです。
 - #1 基幹系ループ系統のため
 - #2 1バンク変電所(分割運用等含む)のため
 - #3 配電用変電所のため
 - #4 安定度制約のため(制約が確認できているもの)
- (4) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (5) 平常時出力制御の可能性のある設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
* https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryoku.html
- (6) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (7) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (8) 電力広域的運営推進機関から示された「想定潮流の合理化」については、順次詳細検討の結果を反映させて参ります。
- (9) 平常時出力制御の可能性の有無に関わらず、ノンファーム型接続適用電源となります。(低圧10kW未満の電源を除く。)
- (10) 予想潮流については「需要・送配電に関する情報」をご覧ください。なお、2023年度末から順次公開範囲を拡大する予定です。
- (11) 既設電源アクセス線に新規電源が連系する際、系統増強が必要になる場合があります。詳細については、系統アクセス検討の中でお示しします。
※電力広域的運営推進機関が公表している「系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム接続～*」でも、新規電源連系時のアクセス線等の取扱いが整理されています。
* <https://www.occto.or.jp/grid/business/setsuzoku.html#non-firm>



茨城県

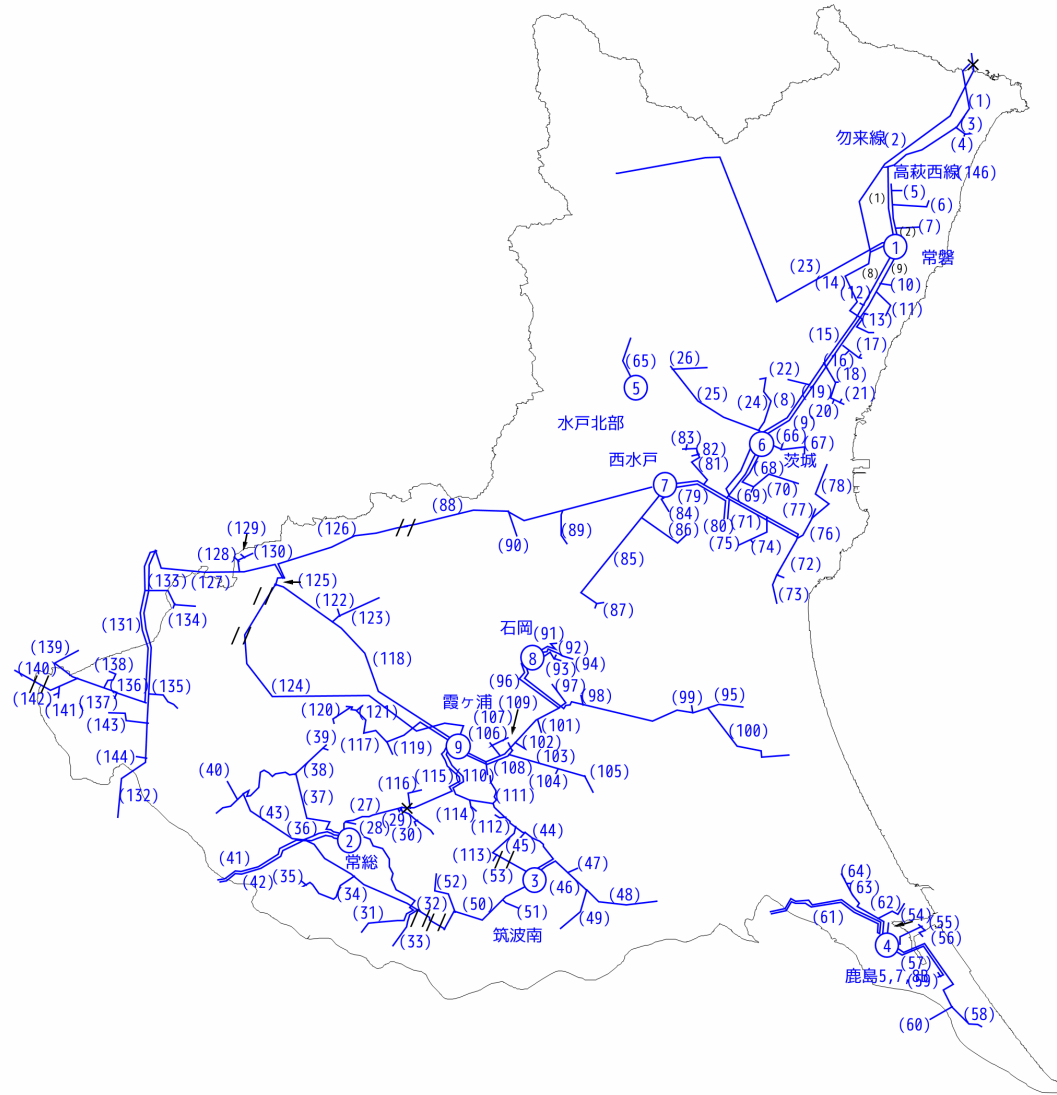
運用容量一覧表～154kVの特高設備～

| 送電線 No | 送電線名 | 電圧 (kV) | 回線数 | 設備容量 (100%× 回線数) (MW) | 運用 容量値 (MW) | 運用容量 制約要因 | 空容量(MW) | | N-1電制 | | 平常時 出力制御 の 可能性 | 平常時出力制御の 可能性がある設備 | | 備考 | | |
|-----------|-------|------------|-----------|--------------------------------|-------------------|--------------|----------|------------|----------|-------------------|-------------------------|----------------------|-----------|----|--------------------|---|
| | | | | | | | 当該 設備 | 上位系等 考慮 | 適用 可否 | 適用 可能量 (MW) | | 当該 設備 | 上位系 設備 | | | |
| 茨城県 | 154kV | 1 | 西茨線 | 154 | 2 | - | - | - | 231 | 0 | - | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ◇ 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城154kV1)による制約 |
| 茨城県 | 154kV | 2 | 西水戸線 | 154 | 2 | 1974 | 1131 | 熱容量 | 61 | 0 | 可 | 843 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城154kV1)による制約 |
| 茨城県 | 154kV | 3 | 戸崎線 | 154 | 2 | 986 | 565 | 熱容量 | 249 | 0 | 可 | 733 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城154kV1)による制約 |
| 茨城県 | 154kV | 4 | 筑南線 | 154 | 2 | 1506 | 870 | 熱容量 | 205 | 0 | 可 | 179 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変4)による制約 |
| 茨城県 | 154kV | 5 | 八千代線 | 154 | 2 | 1974 | 1131 | 熱容量 | 466 | 0 | 可 | 740 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変4)による制約 |
| 茨城県 | 154kV | 6 | 野木線 | 154 | 2 | 1974 | 1131 | 熱容量 | 504 | 0 | 可 | 746 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変4)による制約 |
| 茨城県 | 154kV | 7 | 水戸北部線・小野線 | 154 | 2 | 258 | 148 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 32 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(送茨城154kV8)による制約 |
| 茨城県 | 154kV | 8 | 茨城線 | 154 | 2 | 228 | 131 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城154kV1)による制約 |
| 茨城県 | 154kV | 9 | 村松線 | 154 | 2 | 308 | 172 | 熱容量 | 194 | 0 | 可 | 224 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(送茨城154kV8)による制約 |
| 茨城県 | 154kV | 10 | 石岡線 | 154 | 2 | 1974 | 1131 | 熱容量 | 1629 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城154kV1)による制約 |
| 茨城県 | 154kV | 11 | 新治線 | 154 | 2 | 1078 | 591 | 熱容量 | 113 | 0 | 可 | 100 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変4)による制約 |
| 茨城県 | 154kV | 12 | 湖西線 | 154 | 2 | 474 | 269 | 熱容量 | 246 | 0 | 可 | 224 | 有り | - | 送47 | ※4 抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約 |
| 茨城県 | 154kV | 13 | 送電線 | 154 | 2 | - | - | - | 103 | 0 | - | - | 有り | - | 送46, 送39 | ※4 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(送39)による制約 |

茨城県

運用容量一覧表～154kVの特高設備～

| 変電所 No | 変電所名 | 電圧(kV) | | 台数 | 設備容量 (100%× 台数) (MW) | 運用 容量値 (MW) | 運用容量 制約要因 | 空容量(MW) | | N-1電制 | | 平常時 出力制御 の 可能性 | 平常時出力制御の 可能性がある設備 | | 備考 | | | |
|-----------|-------|--------|------|-----|-------------------------------|-------------------|--------------|----------|------------|----------|-------------------|-------------------------|----------------------|-----------|----|--------------------|---|--|
| | | 一次 | 二次 | | | | | 当該 設備 | 上位系等 考慮 | 適用 可否 | 適用 可能量 (MW) | | 当該 設備 | 上位系 設備 | | | | |
| 茨城県 | 154kV | 1 | 那珂 | 275 | 154 | 4 | 1701 | 1530 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 0 | 有り | 対象 | 変2, 送11 | ※3※6 抑制が必要となる設備には変4 含む 上位系(送11)による制約 | |
| 茨城県 | 154kV | 2 | 新筑波 | 500 | 154 | 4 | 2825 | 2538 | 熱容量 | 624 | 0 | 可 | 287 | 有り | - | 送52, 変4 | ※3※6 抑制が必要となる設備には変2 、送11含む 上位系(変4)による制約 | |
| 茨城県 | 154kV | 3 | 鹿島 | 275 | 154 | 2 | 852 | 513 | 熱容量 | 342 | 0 | 可 | 339 | 有り | - | 送46, 送39 | ※6 抑制が必要となる設備には送 47含む 上位系(送39)による制約 | |
| 茨城県 | 154kV | 4 | 水戸北部 | 154 | 66 | 2 | 186 | 186 | 熱容量 | 138 | 0 | 不可 | #2 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※6 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(送茨城154kV7)による制約 |
| 茨城県 | 154kV | 5 | 茨城 | 154 | 66 | 4 | 537 | 429 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※3※6 抑制が必要となる設備には変4 含む 上位系(変茨城154kV1)による制約 | |
| 茨城県 | 154kV | 6 | 西水戸 | 154 | 66 | 3 | 563 | 450 | 熱容量 | 103 | 0 | 可 | 113 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※3※6 抑制が必要となる設備には変4 含む 上位系(変茨城154kV1)による制約 | |
| 茨城県 | 154kV | 7 | 石岡 | 154 | 66 | 4 | 563 | 537 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※3※6 抑制が必要となる設備には変4 含む 上位系(変茨城154kV1)による制約 | |
| 茨城県 | 154kV | 8 | 霞ヶ浦 | 154 | 66 | 4 | 557 | 444 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 変4 | ※3※6 抑制が必要となる設備には変2 、送11含む 上位系(変4)による制約 | |



茨城県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

| 送電線 No | 送電線名 | 電圧 (kV) | 回線数 | 設備容量 (100%× 回線数) (MW) | 運用 容量値 (MW) | 運用容量 制約要因 | 空容量(MW) | | N-1電制 | | 平常時 出力制御 の 可能性 | 平常時出力制御の 可能性がある設備 | | 備考 | | |
|-----------|------|------------|------|--------------------------------|-------------------|--------------|----------|------------|----------|-------------------|-------------------------|----------------------|-----------|----|--------------------|--|
| | | | | | | | 当該 設備 | 上位系等 考慮 | 適用 可否 | 適用 可能量 (MW) | | 当該 設備 | 上位系 設備 | | | |
| 茨城県 | 66kV | 1 | 北茨城線 | 66 | 2 | 158 | 89 | 熱容量 | 32 | 0 | 可 | 54 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 2 | 勿来線 | 66 | 2 | 66 | 66 | 熱容量 | 30 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 3 | 磯原線 | 66 | 2 | 106 | 69 | 熱容量 | 50 | 0 | 可 | 37 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 4 | 臼場線 | 66 | 2 | 106 | 69 | 熱容量 | 53 | 0 | 可 | 37 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 5 | 手綱線 | 66 | 2 | 51 | 51 | 熱容量 | 16 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 6 | 松久保線 | 66 | 2 | 51 | 51 | 熱容量 | 51 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 7 | 高萩線 | 66 | 2 | 102 | 57 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 45 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 8 | 常磐線 | 66 | 2 | 444 | 254 | 熱容量 | 208 | 0 | 可 | 190 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 9 | 常北線 | 66 | 2 | 444 | 254 | 熱容量 | 188 | 0 | 可 | 190 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 10 | 小木津線 | 66 | 2 | 138 | 92 | 熱容量 | 65 | 0 | 可 | 46 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 11 | 送電線 | 66 | 2 | - | - | - | 69 | 0 | - | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 12 | 送電線 | 66 | 2 | 66 | 37 | 熱容量 | 33 | 0 | 可 | 29 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 13 | 白銀線 | 66 | 2 | 150 | 85 | 熱容量 | 73 | 0 | 可 | 65 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 14 | 助川線 | 66 | 2 | 132 | 74 | 熱容量 | 65 | 0 | 可 | 14 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 15 | 北多賀線 | 66 | 2 | 147 | 147 | 熱容量 | 147 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 16 | 鮎川線 | 66 | 2 | 102 | 67 | 熱容量 | 51 | 0 | 可 | 35 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 17 | 送電線 | 66 | 2 | 102 | 57 | 熱容量 | 51 | 0 | 可 | 45 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 18 | 多賀線 | 66 | 2 | 132 | 74 | 熱容量 | 66 | 0 | 可 | 58 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 19 | 大みか線 | 66 | 2 | 138 | 92 | 熱容量 | 68 | 0 | 可 | 46 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 20 | 送電線 | 66 | 2 | - | - | - | 53 | 0 | - | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 21 | 送電線 | 66 | 2 | - | - | - | 151 | 0 | - | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ◇ 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 22 | 真弓線 | 66 | 2 | 132 | 88 | 熱容量 | 52 | 0 | 可 | 44 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 23 | 大子線 | 66 | 2 | 51 | 51 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 24 | 久慈線 | 66 | 2 | 302 | 172 | 熱容量 | 21 | 0 | 可 | 130 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(送茨城66kV25)による制約 |

茨城県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

| 送電線 No | 送電線名 | 電圧 (kV) | 回線数 | 設備容量 (100% × 回線数) (MW) | 運用容量値 (MW) | 運用容量制約要因 | 空容量(MW) | | N-1電制 | | 平常時出力制御の可能性 | 平常時出力制御の可能性のある設備 | | 備考 |
|--------|-------------------|---------|-----|------------------------|------------|----------|---------|--------|-------|------------|-------------|------------------|-------------------------|--|
| | | | | | | | 当該設備 | 上位系等考慮 | 適用可否 | 適用可能量 (MW) | | 当該設備 | 上位系設備 | |
| 茨城県 | 66kV 25 常陸大宮線 | 66 | 2 | 95 | 95 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 26 送電線 | 66 | 2 | 92 | 92 | 熱容量 | 26 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(送茨城66kV25)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 27 小野川線 | 66 | 2 | 92 | 92 | 熱容量 | 74 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | ※4 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 28 送電線 | 66 | 2 | 92 | 92 | 熱容量 | 92 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | ※4 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 29 牛久北部線 | 66 | 2 | 102 | 57 | 熱容量 | 17 | 0 | 可 | 6 | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | ※4 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 30 送電線 | 66 | 2 | 34 | 34 | 熱容量 | 34 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 31 取手線 | 66 | 2 | 66 | 66 | 熱容量 | 62 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | ※4 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 32 筑波南線(常総系) | 66 | 2 | 147 | 147 | 熱容量 | 147 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | ※4 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 33 東取手線 | 66 | 2 | 66 | 66 | 熱容量 | 66 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | ※4 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 34 守谷線 | 66 | 2 | 61 | 61 | 熱容量 | 61 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | ※4 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 35 送電線 | 66 | 2 | 17 | 17 | 熱容量 | 17 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 36 谷和原線1, 2号 | 66 | 2 | 222 | 222 | 熱容量 | 200 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | ※4 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 37 岩井線 | 66 | 2 | 66 | 66 | 熱容量 | 15 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | ※4 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 38 筑波豊里線 | 66 | 2 | 120 | 71 | 熱容量 | 35 | 0 | 可 | 49 | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | ※4 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 39 テクノパーク豊里線 | 66 | 2 | 102 | 67 | 熱容量 | 51 | 0 | 可 | 35 | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | ※4 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 40 沓掛線 | 66 | 2 | 63 | 63 | 熱容量 | 28 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | ※4 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 41 水海道線 | 66 | 2 | 184 | 104 | 熱容量 | 92 | 0 | 可 | 38 | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | ※4 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 42 出口線 | 66 | 2 | 196 | 107 | 熱容量 | 90 | 0 | 可 | 8 | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | ※4 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 43 飯沼川線 | 66 | 2 | 51 | 51 | 熱容量 | 24 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | ※4 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 44 稲敷線 | 66 | 2 | 222 | 222 | 熱容量 | 95 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3 | ※4 上位系(変茨城66kV3)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 45 送電線 | 66 | 2 | 64 | 40 | 熱容量 | 32 | 0 | 可 | 24 | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3 | ※4 上位系(変茨城66kV3)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 46 江戸崎線 | 66 | 2 | 66 | 66 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3 | ※4 上位系(変茨城66kV3)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 47 送電線 | 66 | 2 | - | - | - | 36 | 0 | - | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3 | ※4 上位系(送茨城66kV46)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 48 幸田線 | 66 | 2 | 66 | 66 | 熱容量 | 18 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3 | ※4 上位系(送茨城66kV46)による制約 |

茨城県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

| 送電線 No | 送電線名 | 電圧 (kV) | 回線数 | 設備容量 (100%× 回線数) (MW) | 運用 容量値 (MW) | 運用容量 制約要因 | 空容量(MW) | | N-1電制 | | 平常時 出力制御 の 可能性 | 平常時出力制御の 可能性のある設備 | | 備考 | |
|-----------|------|------------|----------------|--------------------------------|-------------------|--------------|----------|------------|----------|-------------------|-------------------------|----------------------|-----------|----|---|
| | | | | | | | 当該 設備 | 上位系等 考慮 | 適用 可否 | 適用 可能量 (MW) | | 当該 設備 | 上位系 設備 | | |
| 茨城県 | 66kV | 49 | 角崎線 | 66 | 2 | 66 | 66 | 熱容量 | 30 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3 ※4 上位系(送茨城66kV46)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 50 | 筑波南線(筑波南系) | 66 | 2 | 186 | 186 | 熱容量 | 96 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3 ※4 上位系(変茨城66kV3)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 51 | 送電線 | 66 | 2 | 132 | 88 | 熱容量 | 66 | 0 | 可 | 44 | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3 ※4 上位系(変茨城66kV3)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 52 | 牛久線 | 66 | 2 | 102 | 57 | 熱容量 | 12 | 0 | 可 | 45 | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3 ※4 上位系(変茨城66kV3)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 53 | 桂町線 | 66 | 2 | 222 | 222 | 熱容量 | 222 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3 ※4 上位系(変茨城66kV3)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 54 | 鹿島西部環線 | 66 | 2 | 95 | 95 | 熱容量 | 72 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送46, 送39 ※4 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(送39)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 55 | 東深芝線 | 66 | 2 | 224 | 224 | 熱容量 | 42 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送46, 送39 ※4 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(変茨城66kV4)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 56 | 奥野谷2号線 | 66 | 2 | 216 | 122 | 熱容量 | 48 | 0 | 可 | 94 | 有り | - | 送46, 送39 ※4 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(変茨城66kV4)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 57 | 波崎線 | 66 | 2 | 118 | 118 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送46, 送39 ※4 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(送39)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 58 | 土合線 | 66 | 2 | 118 | 118 | 熱容量 | 50 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送46, 送39 ※4 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(変茨城66kV4)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 59 | 送電線 | 66 | 2 | - | - | - | 30 | 0 | - | - | 有り | - | 送46, 送39 ◇ 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(送茨城66kV57)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 60 | 松岸線 | 66 | 2 | 230 | 157 | 熱容量 | 93 | 0 | 可 | 73 | 有り | - | 送46, 送39 ※4 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(変茨城66kV4)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 61 | 湖南線1, 2, 3, 4号 | 66 | 4 | 92 | 92 | 熱容量 | 17 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送46, 送39 ※3※4 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(変茨城66kV4)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 62 | 平井線 | 66 | 2 | 118 | 67 | 熱容量 | 28 | 0 | 可 | 51 | 有り | - | 送46, 送39 ※4 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(送茨城66kV63)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 63 | 船津線 | 66 | 2 | 95 | 95 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送46, 送39 ※4 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(変茨城66kV4)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 64 | 送電線 | 66 | 2 | - | - | - | 45 | 0 | - | - | 有り | - | 送46, 送39 ◇ 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(送茨城66kV63)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 65 | 山方線 | 66 | 2 | 145 | 145 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 ※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(送茨城154kV7)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 66 | 孫目線 | 66 | 2 | 132 | 74 | 熱容量 | 24 | 0 | 可 | 58 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 ※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 67 | 送電線 | 66 | 2 | 102 | 57 | 熱容量 | 31 | 0 | 可 | 1 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 ◇ 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 68 | 勝田線 | 66 | 2 | 372 | 212 | 熱容量 | 139 | 0 | 可 | 160 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 ※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 69 | 青柳線 | 66 | 2 | 444 | 254 | 熱容量 | 156 | 0 | 可 | 190 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 ※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 70 | 長砂線 | 66 | 2 | 124 | 73 | 熱容量 | 41 | 0 | 可 | 51 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 ※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 71 | 湊線 | 66 | 2 | 102 | 57 | 熱容量 | 43 | 0 | 可 | 45 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 ※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 72 | 大洗線 | 66 | 2 | 102 | 57 | 熱容量 | 24 | 0 | 可 | 45 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 ※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城66kV6)による制約 |

茨城県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

| 送電線 No | 送電線名 | 電圧 (kV) | 回線数 | 設備容量 (100%× 回線数) (MW) | 運用 容量値 (MW) | 運用容量 制約要因 | 空容量(MW) | | N-1電制 | | 平常時 出力制御 の 可能性 | 平常時出力制御の 可能性がある設備 | | 備考 | |
|-----------|---------|------------|-----|--------------------------------|-------------------|--------------|----------|------------|----------|-------------------|-------------------------|----------------------|-----------|--------------------|--|
| | | | | | | | 当該 設備 | 上位系等 考慮 | 適用 可否 | 適用 可能量 (MW) | | 当該 設備 | 上位系 設備 | | |
| 茨城県 | 66kV 73 | 送電線 | 66 | 2 | - | - | - | 36 | 0 | - | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 74 | 常澄線 | 66 | 2 | 132 | 74 | 熱容量 | 14 | 0 | 可 | 58 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 75 | 酒門東線 | 66 | 2 | 66 | 66 | 熱容量 | 39 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 76 | 常陸海浜線 | 66 | 2 | 132 | 109 | 熱容量 | 66 | 0 | 可 | 23 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 77 | 常陸那珂工団線 | 66 | 2 | 66 | 66 | 熱容量 | 61 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 78 | 送電線 | 66 | 2 | 98 | 57 | 熱容量 | 49 | 0 | 可 | 41 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 79 | 北見線 | 66 | 2 | 132 | 74 | 熱容量 | 66 | 0 | 可 | 58 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 80 | 水戸南町線 | 66 | 2 | 42 | 42 | 熱容量 | 42 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 81 | 飯田線 | 66 | 2 | 184 | 104 | 熱容量 | 18 | 0 | 可 | 80 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 82 | 送電線 | 66 | 1 | 30 | 30 | 熱容量 | 1 | 0 | 不可 #2 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※1 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 83 | 送電線 | 66 | 2 | 53 | 53 | 熱容量 | 53 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 84 | 赤塚線 | 66 | 2 | 132 | 74 | 熱容量 | 27 | 0 | 可 | 58 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城154kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 85 | 岩間線 | 66 | 2 | 66 | 66 | 熱容量 | 13 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城154kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 86 | 見川線 | 66 | 2 | 66 | 66 | 熱容量 | 34 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城154kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 87 | 岩間工団線 | 66 | 2 | 51 | 51 | 熱容量 | 51 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城154kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 88 | 水戸線 | 66 | 2 | 72 | 40 | 熱容量 | 5 | 0 | 可 | 31 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城154kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 89 | 友部線 | 66 | 2 | 132 | 74 | 熱容量 | 9 | 0 | 可 | 58 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城154kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 90 | 送電線 | 66 | 2 | - | - | - | 41 | 0 | - | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城154kV1)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 91 | 送電線 | 66 | 2 | - | - | - | 66 | 0 | - | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ◇ 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV8)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 92 | 美野里線 | 66 | 2 | 132 | 74 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 58 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV8)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 93 | 柏原工団線 | 66 | 2 | 132 | 74 | 熱容量 | 66 | 0 | 可 | 58 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV8)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 94 | 送電線 | 66 | 2 | 92 | 92 | 熱容量 | 92 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV8)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 95 | 鉾田線 | 66 | 2 | 132 | 74 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV8)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 96 | 高浜線 | 66 | 2 | 86 | 48 | 熱容量 | 43 | 0 | 可 | 38 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV8)による制約 |

茨城県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

| 送電線 No | 送電線名 | 電圧 (kV) | 回線数 | 設備容量 (100% × 回線数) (MW) | 運用容量値 (MW) | 運用容量制約要因 | 空容量(MW) | | N-1電制 | | 平常時出力制御の可能性 | 平常時出力制御の可能性のある設備 | | 備考 | |
|--------|----------|---------|-----|------------------------|------------|----------|---------|--------|-------|------------|-------------|------------------|-------|-------------------------|--|
| | | | | | | | 当該設備 | 上位系等考慮 | 適用可否 | 適用可能量 (MW) | | 当該設備 | 上位系設備 | | |
| 茨城県 | 66kV 97 | 貝地線 | 66 | 2 | 102 | 57 | 熱容量 | 34 | 0 | 可 | 45 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(送茨城66kV8)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 98 | 送電線 | 66 | 2 | 102 | 57 | 熱容量 | 47 | 0 | 可 | 45 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(送茨城66kV95)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 99 | 上山線 | 66 | 2 | 132 | 74 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 58 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(送茨城66kV95)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 100 | 北浦線 | 66 | 2 | 132 | 88 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(送茨城66kV95)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 101 | 送電線 | 66 | 2 | - | - | - | 51 | 0 | - | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(送茨城66kV8)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 102 | 送電線 | 66 | 2 | 102 | 57 | 熱容量 | 51 | 0 | 可 | 45 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(送茨城66kV8)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 103 | 出島線 | 66 | 2 | 66 | 66 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む上位系(送茨城66kV108)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 104 | 送電線 | 66 | 2 | 51 | 51 | 熱容量 | 51 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む上位系(送茨城66kV103)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 105 | 送電線 | 66 | 2 | - | - | - | 47 | 0 | - | - | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む上位系(送茨城66kV103)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 106 | 木田余線 | 66 | 2 | 132 | 74 | 熱容量 | 49 | 0 | 可 | 58 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(送茨城66kV8)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 107 | 千代田工団線 | 66 | 2 | 102 | 57 | 熱容量 | 51 | 0 | 可 | 45 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(送茨城66kV8)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 108 | 神立線 | 66 | 2 | 92 | 92 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む上位系(送茨城66kV9)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 109 | 中神立線 | 66 | 2 | 86 | 48 | 熱容量 | 43 | 0 | 可 | 38 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む上位系(送茨城66kV108)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 110 | 土浦線 | 66 | 2 | 294 | 167 | 熱容量 | 147 | 0 | 可 | 127 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(送茨城66kV8)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 111 | 立の越線 | 66 | 2 | 184 | 104 | 熱容量 | 92 | 0 | 可 | 80 | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3 | ※4 上位系(送茨城66kV3)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 112 | 送電線 | 66 | 2 | 102 | 57 | 熱容量 | 51 | 0 | 可 | 45 | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3 | ※4 上位系(送茨城66kV3)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 113 | 福田線 | 66 | 2 | 66 | 66 | 熱容量 | 20 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3 | ※4 上位系(送茨城66kV3)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 114 | 阿見線 | 66 | 2 | 132 | 88 | 熱容量 | 34 | 0 | 可 | 44 | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3 | ※4 上位系(送茨城66kV3)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 115 | 霞ヶ浦線 | 66 | 2 | 184 | 104 | 熱容量 | 92 | 0 | 可 | 80 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む上位系(送茨城66kV9)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 116 | 学園中線 | 66 | 2 | 102 | 67 | 熱容量 | 51 | 0 | 可 | 6 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む上位系(送茨城66kV9)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 117 | 大穂線 | 66 | 2 | 184 | 104 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 42 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む上位系(送茨城66kV9)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 118 | 筑波線 | 66 | 2 | 294 | 167 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 62 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む上位系(送茨城66kV9)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 119 | 送電線 | 66 | 2 | 34 | 34 | 熱容量 | 34 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む上位系(送茨城66kV117)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 120 | 大砂線 | 66 | 2 | 120 | 72 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 48 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む上位系(送茨城66kV117)による制約 |

茨城県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

| 送電線 No | 送電線名 | 電圧 (kV) | 回線数 | 設備容量 (100%× 回線数) (MW) | 運用 容量値 (MW) | 運用容量 制約要因 | 空容量(MW) | | N-1電制 | | 平常時 出力制御 の 可能性 | 平常時出力制御の 可能性がある設備 | | 備考 | |
|-----------|----------|------------|-----|--------------------------------|-------------------|--------------|----------|------------|----------|-------------------|-------------------------|----------------------|-----------|---------|---|
| | | | | | | | 当該 設備 | 上位系等 考慮 | 適用 可否 | 適用 可能量 (MW) | | 当該 設備 | 上位系 設備 | | |
| 茨城県 | 66kV 121 | 送電線 | 66 | 1 | - | - | - | 19 | 0 | - | - | 有り | - | 送52, 変4 | ◇ 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送茨城66kV120)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 122 | 明野線 | 66 | 2 | 132 | 74 | 熱容量 | 15 | 0 | 可 | 58 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送茨城66kV118)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 123 | 真壁線 | 66 | 2 | 132 | 74 | 熱容量 | 5 | 0 | 可 | 58 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送茨城66kV118)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 124 | 筑館線(筑館系) | 66 | 2 | 132 | 88 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変茨城66kV9)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 125 | 筑館線(筑波系) | 66 | 2 | 66 | 66 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送茨城66kV118)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 126 | 岩瀬線 | 66 | 2 | 66 | 66 | 熱容量 | 14 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 127 | 下館線 | 66 | 2 | 132 | 74 | 熱容量 | 44 | 0 | 可 | 10 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 128 | 送電線 | 66 | 2 | 102 | 57 | 熱容量 | 51 | 0 | 可 | 45 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 129 | 送電線 | 66 | 2 | 102 | 57 | 熱容量 | 51 | 0 | 可 | 45 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 130 | 送電線 | 66 | 2 | 102 | 57 | 熱容量 | 51 | 0 | 可 | 45 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 131 | 三和線(小山系) | 66 | 2 | 444 | 254 | 熱容量 | 211 | 0 | 可 | 190 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 132 | 山西線 | 66 | 2 | 106 | 69 | 熱容量 | 53 | 0 | 可 | 37 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 133 | 南結城線 | 66 | 2 | 102 | 67 | 熱容量 | 33 | 0 | 可 | 35 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 134 | 結城工団線 | 66 | 2 | 102 | 57 | 熱容量 | 51 | 0 | 可 | 45 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 135 | 西山工団八千代線 | 66 | 2 | 19 | 19 | 熱容量 | 19 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 136 | 三和線(総和系) | 66 | 2 | 444 | 254 | 熱容量 | 222 | 0 | 可 | 190 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変4)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 137 | 送電線 | 66 | 2 | 102 | 57 | 熱容量 | 51 | 0 | 可 | 45 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変4)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 138 | 丘里線 | 66 | 2 | 102 | 57 | 熱容量 | 51 | 0 | 可 | 45 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変4)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 139 | 総和線 | 66 | 2 | 132 | 74 | 熱容量 | 23 | 0 | 可 | 58 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変4)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 140 | 向古河線 | 66 | 2 | 30 | 22 | 熱容量 | 15 | 0 | 可 | 8 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変4)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 141 | 南古河線 | 66 | 2 | 132 | 74 | 熱容量 | 56 | 0 | 可 | 58 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変4)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 142 | 送電線 | 66 | 2 | 51 | 51 | 熱容量 | 51 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変4)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 143 | 北利根線 | 66 | 2 | 106 | 69 | 熱容量 | 33 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約 |
| 茨城県 | 66kV 144 | 猿島線 | 66 | 2 | 146 | 82 | 熱容量 | 30 | 0 | 可 | 64 | 有り | - | 送52, 変4 | ※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約 |

茨城県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

| 送電線 No | 送電線名 | 電圧 (kV) | 回線数 | 設備容量 (100% × 回線数) (MW) | 運用 容量値 (MW) | 運用容量 制約要因 | 空容量(MW) | | N-1電制 | | 平常時 出力制御 の 可能性 | 平常時出力制御の 可能性がある設備 | | 備考 |
|--------------|-----------|------------|-----|---------------------------------|-------------------|--------------|----------|------------|----------|-------------------|-------------------------|----------------------|-------------------|---|
| | | | | | | | 当該 設備 | 上位系等 考慮 | 適用 可否 | 適用 可能量 (MW) | | 当該 設備 | 上位系 設備 | |
| 茨城県 66kV 145 | 谷和原線3, 4号 | 66 | 2 | 444 | 254 | 熱容量 | 198 | 0 | 可 | 190 | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | ※4 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 66kV 146 | 高萩西線 | 66 | 2 | 66 | 66 | 熱容量 | 6 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | ※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城66kV1)による制約 |

茨城県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

| 変電所 No | 変電所名 | 電圧(kV) | | 台数 | 設備容量 (100%× 台数) (MW) | 運用 容量値 (MW) | 運用容量 制約要因 | 空容量(MW) | | N-1電制 | | 平常時 出力制御 の 可能性 | 平常時出力制御の 可能性がある設備 | | 備考 | | | |
|-----------|------|--------|----------|-----|-------------------------------|-------------------|--------------|----------|------------|----------|-------------------|-------------------------|----------------------|-----------|----|--------------------|--|---|
| | | 一次 | 二次 | | | | | 当該 設備 | 上位系等 考慮 | 適用 可否 | 適用 可能量 (MW) | | 当該 設備 | 上位系 設備 | | | | |
| 茨城県 | 66kV | 1 | 常磐 | 275 | 66 | 2 | 569 | 342 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 0 | 有り | 対象 | 変2, 送11 | ※6 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(送11)による制約 | |
| 茨城県 | 66kV | 2 | 常総 | 275 | 66 | 5 | 1227 | 1131 | 熱容量 | 767 | 0 | 可 | 96 | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | ※4※6 上位系(送45)による制約 | |
| 茨城県 | 66kV | 3 | 筑波南 | 275 | 66 | 2 | 566 | 342 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 0 | 有り | 対象 | 送52, 送50, 送45 | ※6 上位系(送45)による制約 | |
| 茨城県 | 66kV | 4 | 鹿島5,7,8B | 275 | 66 | 3 | 649 | 453 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 68 | 有り | - | 送46, 送39 | ※2※6 上位系(送39)による制約 | |
| 茨城県 | 66kV | 5 | 水戸北部 | 154 | 66 | 2 | 186 | 186 | 熱容量 | 138 | 0 | 不可 | #2 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※6 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(送茨城154kV7)による制約 |
| 茨城県 | 66kV | 6 | 茨城 | 154 | 66 | 4 | 560 | 429 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 17 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※3※6 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城154kV5)による制約 | |
| 茨城県 | 66kV | 7 | 西水戸 | 154 | 66 | 3 | 563 | 450 | 熱容量 | 103 | 0 | 可 | 113 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※2※6 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城154kV1)による制約 | |
| 茨城県 | 66kV | 8 | 石岡 | 154 | 66 | 4 | 509 | 394 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | ※3※6 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城154kV7)による制約 | |
| 茨城県 | 66kV | 9 | 霞ヶ浦 | 154 | 66 | 4 | 557 | 444 | 熱容量 | 0 | 0 | 可 | 0 | 有り | - | 送52, 変4 | ※3※6 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む 上位系(変茨城154kV6)による制約 | |
| 茨城県 | 66kV | 10 | 鹿島6B | 275 | 66 | 1 | 285 | 285 | 熱容量 | 33 | 0 | 不可 | #2 | - | 有り | - | 送46, 送39 | ※1 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(送39)による制約 |









茨城県

運用容量一覧表～ 22kV の特高設備 ～

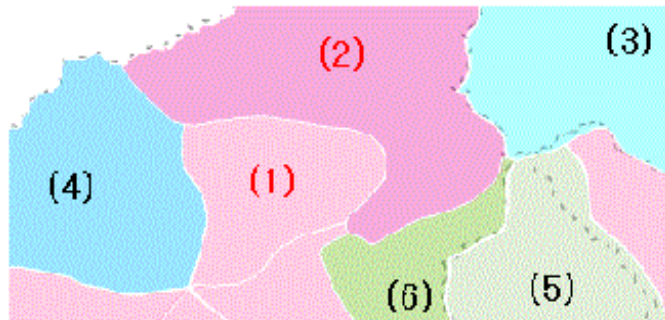
| 変電所 No | 変電所名 | 電圧(kV) | | 台数 | 設備容量 (100%× 台数) (MW) | 運用 容量値 (MW) | 運用容量 制約要因 | 空容量(MW) | | N-1電制 | | 平常時 出力制御 の 可能性 | 平常時出力制御の 可能性がある設備 | | 備考 | | |
|-----------|------|--------|------|-----|-------------------------------|-------------------|--------------|----------|------------|----------|-------------------|-------------------------|----------------------|-----------|----|-----|------------------------------------|
| | | 一次 | 二次 | | | | | 当該 設備 | 上位系等 考慮 | 適用 可否 | 適用 可能量 (MW) | | 当該 設備 | 上位系 設備 | | | |
| 茨城県 | 22kV | 1 | 五霞 | 154 | 22 | 1 | 19 | 19 | 熱容量 | 19 | 0 | 不可 #2 | - | 有り | - | 送52 | ※1 上位系(送52)による制約 |
| 茨城県 | 22kV | 2 | 筑波西部 | 154 | 22 | 2 | 57 | 28 | 熱容量 | 28 | 0 | 不可 #2 | - | 有り | - | 送47 | ※1 抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約 |

配電用変電所エリア空容量マッピングの記載方法について

○既にお申込み頂いている発電設備の連系状況を踏まえ、以下の凡例で配電用変電所の空容量、上位特別高圧系統の平常時出力制御の可能性を示しております。
 ※空容量の数値[MW]については、別紙「空容量一覧表」を参照願います。

| 凡例 | 内容 | 連系までの見通し |
|---|--|---|
|  | 現在配電用変電所の空き容量が不足し、配電用変電所及びバンクの増強等について連系のための対策が必要となる可能性が高いエリア。 または、上位特別高圧系統で連系に必要な対策が必要となる可能性が高いエリア。 | 上位系及び配電用変電所の増強等が必要となる場合、早期連系は困難。※ |
|  | 現在配電用変電所の空き容量が不足し、配電用変電所及びバンクの増強、逆潮流対策等について連系のための対策が必要となる可能性が高いエリア。 または、上位特別高圧系統で連系に必要な対策が必要となる可能性が高いエリア。 | 上位系及び配電用変電所の増強、逆潮流対策等が必要となる場合、早期連系は困難。※ |
|  | 上位特別高圧系統の平常時出力制御が発生する可能性が高いエリア (現在配電用変電所は空きあり)。 | 上位系の対策なしで連系可能な見込み。 |
|  | 上位特別高圧系統の平常時出力制御が発生する可能性が高く、配電用変電所及びバンクの逆潮流対策等について連系のための対策が必要となる可能性が高いエリア(現在配電用変電所は空きあり)。 | 逆潮流等の対策後連系可能。 |
|  | 上位特別高圧系統の平常時出力制御が発生する可能性が低いエリア (現在配電用変電所は空きあり)。 | 上位系の対策なしで連系可能な見込み。 |
|  | 上位特別高圧系統の平常時出力制御が発生する可能性は低いが、配電用変電所及びバンクの逆潮流対策等について連系のための対策が必要となる可能性が高いエリア(現在配電用変電所は空きあり)。 | 逆潮流等の対策後連系可能。 |

※平常時出力制御の可能性の有無に関わらず、ノンファーム型接続適用電源となります。(低圧10kW未満の電源を除く。)



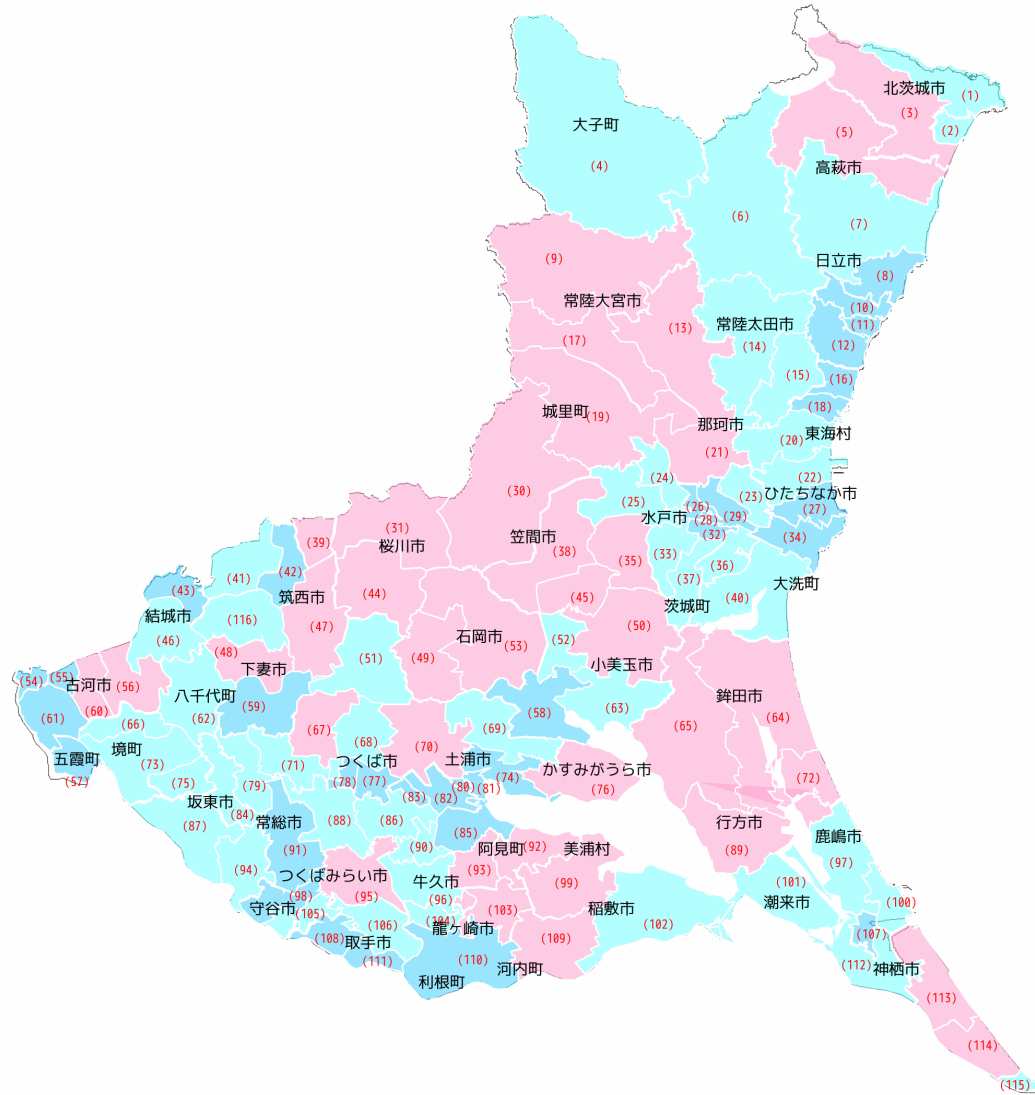
(1), (2), (3), (4), (5), (6) : 配電用変電所のエリア番号

○本資料は高圧(2,000kW未満)にて連系予定の発電設備を対象としております。
 上記に関わらず50kW未満の太陽光発電設備等は「空容量マッピング」対象外です。

資料作成日 2024年7月17日
 転載禁止 東京電力パワーグリッド株式会社

配電用変電所エリア運用容量一覧表の留意事項について

- (1) 空容量と平常時出力制御の可能性は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量と平常時出力制御の可能性が変更となる場合があります。
- (2) 原則として熱容量に基づく空容量と平常時出力制御の可能性を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (3) 配電用変電所のため、N-1電制は適用不可となります。
- (4) 平常時出力制御の可能性がある設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
* https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryuu.html
- (5) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (6) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (7) 平常時出力制御の可能性の有無に関わらず、ノンファーム型接続適用電源となります。(低圧10kW未満の電源を除く。)
- (8) 予想潮流については「需要・送配電に関する情報」をご覧ください。なお、2023年度末から順次公開範囲を拡大する予定です。



茨城県

配電用変電所エリア運用容量一覧表

| 変電所 No | 変電所名 | 電圧(kV) | | 台数 | 設備容量 (100%× 台数) (MW) | 運用 容量値 (MW) | 運用容量 制約要因 | 空容量(MW) | | N-1電制 | | 平常時 出力制御 の 可能性 | 平常時出力制御の 可能性がある設備 | | 備考 | |
|-----------|------|--------|-----|-------|-------------------------------|-------------------|--------------|----------|------------|----------|-------------------|-------------------------|----------------------|-----------|--------------------|---------------------|
| | | 一次 | 二次 | | | | | 当該 設備 | 上位系等 考慮 | 適用 可否 | 適用 可能量 (MW) | | 当該 設備 | 上位系 設備 | | |
| 茨城県 | 1 | 五浦 | 66 | 6.6以下 | 3 | 38 | 39 | 熱容量 | 5 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | 上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 2 | 磯原 | 66 | 6.6以下 | 3 | 28 | 29 | 熱容量 | 3 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | 上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 3 | 木皿 | 66 | 6.6以下 | 2 | 19 | 19 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | 上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 4 | 大子 | 66 | 6.6以下 | 3 | 38 | 39 | 熱容量 | 4 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | 上位系(送茨城66kV23)による制約 |
| 茨城県 | 5 | 手綱 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | 上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 6 | 里美 | 66 | 6.6以下 | 1 | 9 | 9 | 熱容量 | 6 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | 上位系(送茨城66kV23)による制約 |
| 茨城県 | 7 | 高萩 | 66 | 6.6以下 | 3 | 47 | 49 | 熱容量 | 2 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | 上位系(送茨城66kV7)による制約 |
| 茨城県 | 8 | 小木津 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 15 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | 上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 9 | 山方 | 66 | 6.6以下 | 2 | 19 | 19 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(送茨城66kV65)による制約 |
| 茨城県 | 10 | 日立 | 66 | 6.6以下 | 3 | 38 | 39 | 熱容量 | 9 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | 上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 11 | 助川 | 66 | 6.6以下 | 3 | 38 | 39 | 熱容量 | 6 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | 上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 12 | 北多賀 | 66 | 6.6以下 | 3 | 52 | 54 | 熱容量 | 14 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | 上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 13 | 常陸大宮 | 66 | 6.6以下 | 3 | 38 | 39 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(送茨城66kV25)による制約 |
| 茨城県 | 14 | 常陸太田 | 66 | 6.6以下 | 3 | 33 | 34 | 熱容量 | 3 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(送茨城66kV25)による制約 |
| 茨城県 | 15 | 真弓 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 11 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | 上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 16 | 多賀 | 66 | 6.6以下 | 3 | 42 | 44 | 熱容量 | 9 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | 上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 17 | 水戸北部 | 154 | 6.6以下 | 3 | 38 | 39 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(送茨城154kV7)による制約 |
| 茨城県 | 18 | 大みか | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 19 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城66kV1 | 上位系(変茨城66kV1)による制約 |
| 茨城県 | 19 | 桂 | 154 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(送茨城154kV8)による制約 |
| 茨城県 | 20 | 笠松 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 9 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 21 | 飯田 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 22 | 長砂 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 11 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 23 | 勝田 | 66 | 6.6以下 | 3 | 52 | 54 | 熱容量 | 12 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 24 | 堀町 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 6 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城154kV1)による制約 |
| 茨城県 | 25 | 赤塚 | 66 | 6.6以下 | 3 | 52 | 54 | 熱容量 | 7 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城154kV1)による制約 |

茨城県

配電用変電所エリア運用容量一覧表

| 変電所 No | 変電所名 | 電圧(kV) | | 台数 | 設備容量 (100%× 台数) (MW) | 運用 容量値 (MW) | 運用容量 制約要因 | 空容量(MW) | | N-1電制 | | 平常時 出力制御 の 可能性 | 平常時出力制御の 可能性がある設備 | | 備考 | |
|-----------|------|--------|----|-------|-------------------------------|-------------------|--------------|----------|------------|----------|-------------------|-------------------------|----------------------|-----------|--------------------|----------------------|
| | | 一次 | 二次 | | | | | 当該 設備 | 上位系等 考慮 | 適用 可否 | 適用 可能量 (MW) | | 当該 設備 | 上位系 設備 | | |
| 茨城県 | 26 | 根本 | 66 | 6.6以下 | 3 | 47 | 49 | 熱容量 | 14 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城154kV1)による制約 |
| 茨城県 | 27 | 常陸海浜 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 19 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 28 | 大町 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 19 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 29 | 水戸 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 19 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城154kV1)による制約 |
| 茨城県 | 30 | 笠間 | 66 | 6.6以下 | 3 | 52 | 54 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城154kV1)による制約 |
| 茨城県 | 31 | 岩瀬 | 66 | 6.6以下 | 3 | 42 | 44 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(送栃木154kV12)による制約 |
| 茨城県 | 32 | 白梅 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 19 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 33 | 見川 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 7 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城154kV1)による制約 |
| 茨城県 | 34 | 湊 | 66 | 6.6以下 | 3 | 47 | 49 | 熱容量 | 6 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 35 | 内原 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城154kV1)による制約 |
| 茨城県 | 36 | 酒門東 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 1 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 37 | 千波 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 7 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城154kV1)による制約 |
| 茨城県 | 38 | 友部 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城154kV1)による制約 |
| 茨城県 | 39 | 協和 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(送栃木154kV12)による制約 |
| 茨城県 | 40 | 大洗 | 66 | 6.6以下 | 3 | 47 | 49 | 熱容量 | 6 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城66kV6)による制約 |
| 茨城県 | 41 | 川島 | 66 | 6.6以下 | 3 | 47 | 49 | 熱容量 | 1 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(送栃木154kV12)による制約 |
| 茨城県 | 42 | 下館 | 66 | 6.6以下 | 3 | 47 | 49 | 熱容量 | 13 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(送茨城66kV118)による制約 |
| 茨城県 | 43 | 結城 | 66 | 6.6以下 | 3 | 42 | 44 | 熱容量 | 9 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(送栃木154kV12)による制約 |
| 茨城県 | 44 | 真壁 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(送茨城66kV118)による制約 |
| 茨城県 | 45 | 岩間 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城154kV1)による制約 |
| 茨城県 | 46 | 南結城 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 3 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(送栃木154kV12)による制約 |
| 茨城県 | 47 | 明野 | 66 | 6.6以下 | 3 | 52 | 54 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(送茨城66kV118)による制約 |
| 茨城県 | 48 | 関城 | 66 | 6.6以下 | 3 | 47 | 49 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(送茨城66kV125)による制約 |
| 茨城県 | 49 | 八郷 | 66 | 6.6以下 | 2 | 28 | 29 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城66kV8)による制約 |
| 茨城県 | 50 | 美野里 | 66 | 6.6以下 | 3 | 47 | 49 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(送茨城66kV92)による制約 |

茨城県

配電用変電所エリア運用容量一覧表

| 変電所 No | 変電所名 | 電圧(kV) | | 台数 | 設備容量 (100%× 台数) (MW) | 運用 容量値 (MW) | 運用容量 制約要因 | 空容量(MW) | | N-1電制 | | 平常時 出力制御 の 可能性 | 平常時出力制御の 可能性がある設備 | | 備考 | |
|-----------|------|--------|-----|-------|-------------------------------|-------------------|--------------|----------|------------|----------|-------------------|-------------------------|----------------------|-----------|--------------------|----------------------|
| | | 一次 | 二次 | | | | | 当該 設備 | 上位系等 考慮 | 適用 可否 | 適用 可能量 (MW) | | 当該 設備 | 上位系 設備 | | |
| 茨城県 | 51 | 筑波 | 66 | 6.6以下 | 3 | 52 | 54 | 熱容量 | 8 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(送茨城66kV118)による制約 |
| 茨城県 | 52 | 竹原 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 4 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(送茨城66kV92)による制約 |
| 茨城県 | 53 | 石岡 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城154kV7)による制約 |
| 茨城県 | 54 | 古河 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 19 | 0 | 不可 | - | 有り | - | - | |
| 茨城県 | 55 | 牛谷 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 19 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(変4)による制約 |
| 茨城県 | 56 | 諸川 | 66 | 6.6以下 | 3 | 52 | 54 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(送栃木154kV12)による制約 |
| 茨城県 | 57 | 五霞 | 154 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 19 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52 | 上位系(送52)による制約 |
| 茨城県 | 58 | 貝地 | 66 | 6.6以下 | 3 | 42 | 44 | 熱容量 | 9 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城66kV8)による制約 |
| 茨城県 | 59 | 下妻 | 66 | 6.6以下 | 3 | 47 | 49 | 熱容量 | 2 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(送茨城66kV125)による制約 |
| 茨城県 | 60 | 総和 | 66 | 6.6以下 | 3 | 47 | 49 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(変4)による制約 |
| 茨城県 | 61 | 南古河 | 66 | 6.6以下 | 3 | 47 | 49 | 熱容量 | 13 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(変4)による制約 |
| 茨城県 | 62 | 八千代 | 154 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 6 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(変4)による制約 |
| 茨城県 | 63 | 玉里 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 3 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(送茨城66kV95)による制約 |
| 茨城県 | 64 | 鉾田 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(送茨城66kV95)による制約 |
| 茨城県 | 65 | 上山 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(送茨城66kV99)による制約 |
| 茨城県 | 66 | 三和 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 7 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(送栃木154kV12)による制約 |
| 茨城県 | 67 | 大砂 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(送茨城66kV120)による制約 |
| 茨城県 | 68 | 大穂 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 2 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(送茨城66kV117)による制約 |
| 茨城県 | 69 | 神立 | 66 | 6.6以下 | 3 | 42 | 44 | 熱容量 | 2 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(送茨城66kV108)による制約 |
| 茨城県 | 70 | 西土浦 | 66 | 6.6以下 | 3 | 47 | 49 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(送茨城66kV108)による制約 |
| 茨城県 | 71 | 豊里 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 7 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 72 | 大洋 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(送茨城66kV100)による制約 |
| 茨城県 | 73 | 猿島 | 66 | 6.6以下 | 3 | 52 | 54 | 熱容量 | 4 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(送栃木154kV12)による制約 |
| 茨城県 | 74 | 木田余 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 6 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城66kV8)による制約 |
| 茨城県 | 75 | 沓掛 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 5 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | 上位系(送45)による制約 |

茨城県

配電用変電所エリア運用容量一覧表

| 変電所 No | 変電所名 | 電圧(kV) | | 台数 | 設備容量 (100%× 台数) (MW) | 運用 容量値 (MW) | 運用容量 制約要因 | 空容量(MW) | | N-1電制 | | 平常時 出力制御 の 可能性 | 平常時出力制御の 可能性がある設備 | | 備考 | |
|--------|------|--------|-----|-------|-------------------------------|-------------------|--------------|----------|------------|----------|-------------------|-------------------------|----------------------|-----------|-------------------------|----------------------|
| | | 一次 | 二次 | | | | | 当該 設備 | 上位系等 考慮 | 適用 可否 | 適用 可能量 (MW) | | 当該 設備 | 上位系 設備 | | |
| 茨城県 | 76 | 出島 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(変茨城66kV8)による制約 |
| 茨城県 | 77 | 学園都市 | 154 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 19 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送47 | 上位系(送47)による制約 |
| 茨城県 | 78 | 東光台 | 154 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 11 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送47 | 上位系(送47)による制約 |
| 茨城県 | 79 | 大生郷 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 6 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 80 | 中土浦 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 19 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3 | 上位系(変茨城66kV3)による制約 |
| 茨城県 | 81 | 土浦 | 66 | 6.6以下 | 3 | 52 | 54 | 熱容量 | 14 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3 | 上位系(変茨城66kV3)による制約 |
| 茨城県 | 82 | 高津 | 66 | 6.6以下 | 2 | 33 | 34 | 熱容量 | 14 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(変茨城66kV9)による制約 |
| 茨城県 | 83 | つくば並木 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 19 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(変茨城66kV9)による制約 |
| 茨城県 | 84 | 飯沼川 | 66 | 6.6以下 | 2 | 28 | 29 | 熱容量 | 1 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 85 | 阿見 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 10 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3 | 上位系(変茨城66kV3)による制約 |
| 茨城県 | 86 | 小野川 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 14 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 87 | 岩井 | 66 | 6.6以下 | 3 | 52 | 54 | 熱容量 | 4 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 88 | 福岡 | 66 | 6.6以下 | 3 | 52 | 54 | 熱容量 | 1 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 89 | 麻生 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 変2, 送11, 変茨城154kV1 | 上位系(送茨城66kV100)による制約 |
| 茨城県 | 90 | 牛久北部 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 6 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 91 | 水海道 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 11 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 92 | 君島 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3 | 上位系(変茨城66kV3)による制約 |
| 茨城県 | 93 | 福田 | 66 | 6.6以下 | 2 | 28 | 29 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3 | 上位系(変茨城66kV3)による制約 |
| 茨城県 | 94 | 菅生 | 66 | 6.6以下 | 3 | 52 | 54 | 熱容量 | 6 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 95 | 伊奈町 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 96 | 牛久 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 6 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3 | 上位系(変茨城66kV3)による制約 |
| 茨城県 | 97 | 船津 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 2 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送46, 送39 | 上位系(送茨城66kV63)による制約 |
| 茨城県 | 98 | 守谷 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 19 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 99 | 江戸崎 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3 | 上位系(送茨城66kV46)による制約 |
| 茨城県 | 100 | 平井 | 66 | 6.6以下 | 1 | 19 | 19 | 熱容量 | 9 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送46, 送39 | 上位系(送茨城66kV63)による制約 |

茨城県

配電用変電所エリア運用容量一覧表

| 変電所 No | 変電所名 | 電圧(kV) | | 台数 | 設備容量 (100%× 台数) (MW) | 運用 容量値 (MW) | 運用容量 制約要因 | 空容量(MW) | | N-1電制 | | 平常時 出力制御 の 可能性 | 平常時出力制御の 可能性がある設備 | | 備考 |
|-----------|---------|--------|-------|----|-------------------------------|-------------------|--------------|----------|------------|----------|-------------------|-------------------------|----------------------|-----------------------------|--------------------------|
| | | 一次 | 二次 | | | | | 当該 設備 | 上位系等 考慮 | 適用 可否 | 適用 可能量 (MW) | | 当該 設備 | 上位系 設備 | |
| 茨城県 | 101 潮来 | 66 | 6.6以下 | 3 | 52 | 54 | 熱容量 | 6 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送46, 送39 | 上位系(変茨城66kV4)による 制約 |
| 茨城県 | 102 幸田 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 5 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66 kV3 | 上位系(送茨城66kV46)による 制約 |
| 茨城県 | 103 薄倉 | 66 | 6.6以下 | 3 | 47 | 49 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66 kV3 | 上位系(変茨城66kV3)による 制約 |
| 茨城県 | 104 北竜台 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 10 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66 kV3 | 上位系(変茨城66kV3)による 制約 |
| 茨城県 | 105 南守谷 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 14 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 106 藤代 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 14 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 107 神栖 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 11 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送46, 送39 | 上位系(送茨城66kV63)による 制約 |
| 茨城県 | 108 取手 | 66 | 6.6以下 | 3 | 42 | 44 | 熱容量 | 8 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 109 角崎 | 66 | 6.6以下 | 3 | 47 | 49 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66 kV3 | 上位系(送茨城66kV46)による 制約 |
| 茨城県 | 110 竜ヶ崎 | 66 | 6.6以下 | 3 | 47 | 49 | 熱容量 | 9 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45, 変茨城66 kV3 | 上位系(変茨城66kV3)による 制約 |
| 茨城県 | 111 東取手 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 19 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 送50, 送45 | 上位系(送45)による制約 |
| 茨城県 | 112 神之池 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 4 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送46, 送39 | 上位系(送茨城66kV57)による 制約 |
| 茨城県 | 113 波崎 | 66 | 6.6以下 | 3 | 57 | 59 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送46, 送39 | 上位系(送茨城66kV57)による 制約 |
| 茨城県 | 114 南波崎 | 66 | 6.6以下 | 3 | 47 | 49 | 熱容量 | 0 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送46, 送39 | 上位系(変茨城66kV4)による 制約 |
| 茨城県 | 115 銚子 | 66 | 6.6以下 | 3 | 47 | 49 | 熱容量 | 7 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送46, 送39 | 上位系(変茨城66kV4)による 制約 |
| 茨城県 | 116 木戸 | 66 | 6.6以下 | 2 | 38 | 39 | 熱容量 | 12 | 0 | 不可 | - | 有り | - | 送52, 変4 | 上位系(送茨城66kV118)による 制約 |